

大空の下で遊ぶ



レッズランド(写真右)面積約14万平方メートルもの敷地をもつ「レッズランド」。会員制だが、一般の利用も可能。お問い合わせはTEL:840-1541へ(月曜定休、祝日の場合は翌日)。

レッズランド担当の河野宏さん(写真左上)レッズランドハウス(桜区下大久保1771)にはオフィスのほか、スポーツ施設やレンタルサイクルの利用受付窓口、シャワールームや更衣室などがある。

レンタルサイクル(写真左下)レッズランドで貸している自転車は、大人用(500円:26インチ)と子ども用(200円:22インチ)がある(会員は無料)。また、荒川総合運動公園の事務所でも基本料金300円で自転車を借りることができる。

地域に根ざしたスポーツ拠点

荒川河川敷には、「荒川総合運動公園」や「西遊馬公園」など、さまざまなスポーツやレクリエーションが楽しめる市の施設がたくさんあります。その一角に、Jリーグ浦和レッズが運営する総合スポーツ施設「レッズランド」が誕生しました。本格オープン後は数年後の予定ですが、すでに天然芝のサッカー場5面(うち野球場兼用3面)、テニスコート11面などがあり、仮オープンしています。

「Jリーグ百年構想に基づき、地域に根ざしたスポーツ振興をめざしています。今までは「みる」スポーツでしたが、「一歩進んで市民がする」スポーツも支援していきたいです」とご担当の河野宏さん。

サイクリングロードに近い、レンタルサイクルも実施。レッズの赤と白をしながら、安楽城潤さん(浦和サイクリングクラブ)は、「さいたま市内は歩道が狭くて、危険な目に遭うことがあります。歩道と車道の段差も、できればなくしてほしい。これは車椅子を使用される方も同じ気持ちじゃないでしょうか」と指摘。

自転車が行きやすいまちは、バリアフリーのまちにもなり、自転車通勤・通学する人が増えれば、車の数を減らすことや市民の健康にもつながります。そのため、市では「さいたま2005まちプラン」の中で「自転車利用環境の向上」として、「道路幅員や自動車交通量の状況を考慮しながら、自転車の走行空間の確保や自転車駐車場の整備を促進する」、「レクリエーションとしての自転車利用の増加に対応し、河川沿いのサイクリングロードと連絡する自転車道の整備を検討すること」としており、その実現に向けて努力していきます。



なじみのエンブレムが印象的な「レッズ仕様のオフロード用自転車(ATB)は、こどもしか乗ることができない特注品。これでまちに出ると、みんなの目を引きそうです。

レッズランドでは、地域貢献プログラムとして、プロテニスプレーヤー監督の教室を開いたり、身障者や高齢者などを対象としたイベント、埼玉大学や地元NPOなどと連携したコミュニティづくりの活動を行っています。

「サーキット秋ヶ瀬」は周辺の穴場的スポット。大人も子どもも、レーシングカートを体験できます。実はここ、レベルの高い練習ができる本格的なコースとして人気が高く、県内はもとより関東近県や遠くは九州から訪れる方もいるそうです。何人ものレーサーを輩出しているだけあって、練習風景は相当の迫力です。



サーキット秋ヶ瀬(写真右上) 都心から一番近いサーキットで、休日には遠くからも練習に訪れる。子ども用のレンタルカートは月曜日以外の12時~13時。かなり混み合うので、事前に必ずお問い合わせを(TEL:855-7862)。

荒川総合運動公園(写真右下) 河川敷にある総合運動場。野球場5面、ソフトボール兼少年野球場6面、サッカー場3面、テニスコート24面の施設がある。お問い合わせはTEL:857-0451へ。

秋ヶ瀬公園(写真左) 野球場やサッカー場、テニスコートなどのスポーツ施設のほか、自然学習ができる「こどもの森」や野鳥の飛び交う「ピクニックの森」などがある。とにかく広い!

まちを再発見する楽しみも

仲間とサイクリングを楽しんでいるという市民グループに出会いました。結成50周年を昨年迎えた「浦和サイクリングクラブ」の皆さんです。会員は現在53人。

「タイムを競うのではなく、純粋にツーリングを楽しむことをモットーに活動しています」と語る代表の杉山弘さん。自転車の魅力は?の問いには、「気が向けば1人でひよいと出かけられるところ」と皆さんが声をそろえました。「子どものころ、よく『この道から行けるかな』と路地を入っていたが、自転車でもちの中を走ると、ふとそんな冒険心がわいてくるんです」「そう、近くにこんな美しい景色があったのか、という発見をしたときが楽しい」と話は尽きません。中には、1人で60台も自転車を集めちゃった、というツワモノも。一方で、「血糖値が高く、悩んでいたが、自転車のおかげですっかり健康になりました」という人もいて、実にさまざまな魅力があることがわかりました。

自転車が行きやすいまちをめざして

レジャーやスポーツなどで、老若男女が手軽に楽しめる自転車を、通勤・通学に利用する人も増えています。浦和区から大宮区まで自転車通勤

自転車に魅せられて

荒川周辺のサイクリングロード(写真左) ちょっとした小旅行気分で行けば、南は葛西臨海公園へ、北は武蔵丘陵森林公園まで、その距離は全長約90キロメートルに及ぶ。

浦和サイクリングクラブの皆さん(写真下) 結成50周年!を迎えた浦和サイクリングクラブ。現在会員は53人。クラブへの入会希望は、事務局の山本さん(TEL:886-6003)まで。



「さいたま2005まちプラン」都市計画法に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」(さいたま市都市計画マスタープラン)として策定。市のめざすまちの姿と、市民・企業・行政による協働のまちづくりの進め方などを示している。

